

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-6-3 空港・港湾の維持・整備

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 港湾空港課長 奥村 恭 電話番号 0852-22-5228

事務事業の名称	港湾計画事業	
目的	(1) 対象	港湾・海岸の施設利用者
	(2) 意図	港湾機能の安全性、利便性に配慮し、効率的な港湾整備計画を立てる
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾・海岸の施設利用者に対して、港湾機能の安全性、利便性に配慮した、港湾整備計画を作成する。</li> <li>重要港湾の港湾計画策定にあたって、施設を利用する人の意見を聞くために地方港湾審議会を開催する。</li> <li>調査依頼者（国）に港湾にかかるデータを迅速に提供するため、港湾統計調査員を委嘱し必要なデータを収集する。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

(1) 指標名	重要港湾（浜田港・三隅港・西郷港）の整備率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			76.50	80.70	85.10	
式・定義	港湾整備の実施済延長／港湾整備の計画延長	実績値	75.50	76.40	79.90	83.00		%
		達成率		99.90	99.00	97.60		
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			%
		達成率		0.00	0.00			

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,019	1,452
うち一般財源(千円)	0	432

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・浜田港の物流機能強化に向け、H26年度に官民連携基盤整備推進調査費により、浜田港の貨物・入港船舶需要調査と将来需要推計を行い、将来必要な港湾施設規模や配置等の検討を行った。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・港湾計画を変更した浜田港長浜地区野積場について、造成工事がH27年3月に完成し、新たな貨物としてバイオマス発電燃料の椰子ガラが輸入された。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

・浜田港の埠頭が手狭なため、チップなど新規の貨物需要に対応できない状況。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・現在の浜田港港湾計画と実際の利用形態とで乖離が生じている。

### ③原因を解消するための「課題」

・浜田港港湾計画を改訂し、埠頭を拡大する必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・浜田港港湾計画の改訂に向けて、浜田港の将来像を明確にするため、長期構想を策定する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）